



ゆすい

ふれあいネットワーク

# ボランティアセンターだより

●編集・発行／社会福祉法人 湧水町社会福祉協議会 ボランティアセンター  
TEL75-2200 FAX75-2756

令和元年11月1日発行



## 夏休みボランティア体験研修

# ボランティア体験研修

社会福祉協議会では、ボランティア育成事業の一環として、夏休みの期間中、小学生、中学生、高校生を対象にボランティア体験研修を実施しました。今年も多数の児童・生徒たちが参加し熱心に取り組んでくれました。来年も、是非参加してほしいと思います。

ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

八月二日シルバーケアセンターで、小学三年生から六年生を対象にボランティア体験研修を実施しました。この研修は、ボランティア活動を通して、お年寄りや身体に障害を持った人々に対する理解と共感を深め、共に支え合って生きよ



うとする思いやりの心を育むことを目的として実施し、十九名の参加がありました。研修では、車いすで湧水町にお住いの喜井郁子さんを講師に招き、車いすで生活している中での不便さや、もし困ったことがあった時、どのようなお手伝いが必要

なのかについて、お話して頂きました。また、ご自分で運転されている車への乗り降りや運転についても説明しながら見せて頂きました。児童たちも運転できることに驚いた様子でした。午後からの、疑似体験でも車いすやアイマスク体験をしながら、体の不自由な方や目が見えない人の不便さや初めて行くところを歩く不安など、実感することが出来たようです。

昼食では、災害時のための非常炊き出し実習を行い、非常食（ご飯）にカレーをかけて食べました。ハイゼックスという特殊な袋にお米を入れて作りますが、出来上がったご飯に驚いて

いました。

また、デイサービス利用者子どもとグループを作り、グループ対抗で競い合うゲームをして交流を深めました。普段、高齢者と接することのない子どもたちにとって、有意義な時間になったのではないのでしょうか。

## ボランティア体験研修に参加して

今日は、車いすについて教えてもらったり、アイマスクたいけんをして、体にしよがいがある人は、いろいろとふべんな生活をしていることが分かりました。私は、ボランティアたいけん



んは初めてだったので、これからお年よりのふれあいをしていきたいです。

（上場小学校三年

竹野 まほろ）

はじめ来たときは、何をするのか分かりませんでした。でもやってみると、しよう害しやの人は、だれかがいないとこまることが多いのが分かりました。車いすで生活している喜井さんは、だれかに助けてもらったり自分でやっていることが分かりました。それを聞いて、「自分でチャレンジすることは、すごいな」と思いました。その後、カレーを食べたり車いす体験やアイマスクで目の見えない人の気持ちになる体験をしました。車いすでは大変だけど楽しかったで

私は、ボランティア体験研修に三回参加しました。車いす体験では、足をのせるフットレストという台をたおしました。ブレイキレバーをたおして、ハンドグリップをもって声をかけながらゆっくり進みます。喜井さんの話を聞いて、考えたことは二つあります。一つ目は、前に自分で出来ていたことも、少しするとなかなかなくなったこともあったけど、また工夫してできるようになったのがすごいと思いました。二つ目は、体

が不自由な人は、自分でできないこともあるけど、手を使って色々なことをするのがすごいと思いました。  
(栗野小学校五年 小川 楓香)



初めて体験した車いすやアイマスクをしたりして車いすの人たちは、大変だなと思いました。目や耳が見えない人聞こえない人たちは、人や音を感じたりして歩いていたので大変そうでした。ぼくは、いろいろな人の手助けをしたいと思いました。  
(栗野小学校六年 小原 暖輝)

(吉松小学校六年 坂下 日奈子)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和元年度

# ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

## 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ			
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

## 年間保険料 (1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
天災タイプ(※) <small>(基本タイプ+地震・噴火・津波)</small>			500円	710円

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03 (3349) 5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763  
 営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

# 手話教室

初歩的な手話を学んでもらい、聴覚障害者に対する理解を深め、日常生活における関わりについて考えることを目的として、小学生・中学生・高校生を対象に、夏休み期間四回の手話教室をよしまつふれあいの家で開催しました。

吉松地区の福原あけみ先生に指導して頂き、指文字や手話歌、簡単な会話など学び、八月三十一日の「ボランティアの集い」に手話歌を披露することを目標に学んでいました。

## ☆手話教室に参加して

ほくは、ことしはじめて手話教室にさんかして、とってもおもしろいと思いました。手話は、むずかしかったけど、パプリカとふるさとは、かんたんで楽し



かったです。八月三十一日の発表会は、れんしゅうのせいかをじゅうぶんにごせようにながります。

(吉松小学校三年)

柿木 ひゆうが)

わたしは、手話教室をはじめてやりました。むずかしくて、福原先生をずっと見ていました。家でも練習をしていてもむずかしくもうちよつとがんばれたと思います。来年も参加して、いろいろなことを学んで、耳がふじゆうな人に手話をやっていろいろな人とかかわりたいです。

(吉松小学校五年)

柳原 莉愛来)



手話教室に参加して、しよう害者の大へんさがわかりました。いろいろな単語やあいさつなどたくさん覚えられて、これからの生活に生かせるようにがんばりたいです。来年も参加したいです。パプリカの歌を

覚えられてよかったです。

(上場小学校六年)

原口 彩愛)

手話教室に通って、いろいろな言葉や歌に合わせて手話をしたり、いろんなことを学びました。歌に合わせてやる歌は、曲が速くて合わせるのが大へんだったけど、たくさん練習してできるようになりました。今回、習った手話をこれから生かしたいし、来年も参加したいと思います。

(栗野小学校六年)

樋口 心々音)



初めて参加させて頂いて、とても勉強になりました。何回かすることで、覚えられることができたり、忘れていた時もあったけど、思い出してわかり出来た時は、とても嬉しかったです。また、手話に魅力を感じました。この教室で教えて頂いたことを忘れず、次の進路に生かしていきたいと思

(龍桜高等学校三年)

重村 陽佳)



# 保育ボランティア体験研修

町内の保育園にご協力頂き、普段接することの少ない乳幼児との関わりを通して、楽しく触れ合うと共に、乳幼児との接し方を学ぶことを目的に、保育ボランティア体験研修を実施しました。今年には中学生二十一名、高校生三名が夏休みを利用して体験しました。数日間体験する生徒もおり、元氣いっぱいの子どもたちと楽しい時間を過ごし、先生方の大変さも体験できたと思います。

## 研修に参加して

三日間振り返ってみると、楽しいことばかりで、本当に時間の流れが早い、あつという間の三日間でした。みんな本当に可愛くて私はこの三日間でいやされた感じがしました。そしてみんな笑顔であふれていて、私まで笑顔になりました。本当にためになったと思います。なので、大事な三日間を通して学んだ事などをしっかり感じながら、これからの生活をしていき



たいと思いました。この保育ボランティアに参加してよかったです。  
(吉松中学校三年 上野 莉奈)

保育ボランティア体験研修に参加して、小さな子ども達が、一生けんめいにこちらに自分の気持ちを伝えようとしてくれるのが、とてもうれしかったです。全身を使って、全力でがんばっているのを見ると、こちらもいっぱい元氣をも

らいました。私は、中学生になってからボランティアに参加することは無かったのですが、とてもいい経験になったと思います。この経験を生かして、これから学生生活もがんばりたいです。  
(栗野中学校二年 今川 愛加吏)

本当にいい体験をさせてもらいました。ボランティアとして、二ツ葉保育園に来ましたが、遊びに来ているように楽しく過ごせました。先生方が優しくしてくださったおかげで、自分が今すべきこと等、たくさん学ぶことができました。一日目より二日目の方が多く動けたような気がします。子どもたちが笑顔になることが、この二日間大好きになりました。この二日間



の保育ボランティアで学んだことを、今後にしつかり生かし、これからもたくさんボランティアに参加していきたいなと思います。  
(栗野中学校三年 大熊 朋佳)

私は、保育ボランティアに参加するのは、三回目ですが毎回様々な経験をする事ができて、日々の生活にも活かす事ができています。今回は、三才児のクラスに行きました。私は、小さい子のお世話をするのが好きで、三才児のクラスに行こうと思いました。みんな元気で、明るい子ばかりでした。最初はプールに入りました。みんなと一緒にプールに入ってたけいだけで疲れたけど、保育士



の方は、それでもニコニコしていて、さすがだなと思いました。次に、歌を歌ってお昼を食べました。みんなと話しながら食べて、仲良くなれた気がしました。そして、はみがきをしてお昼寝のお手伝いをしました。ゆっくりして、いろいろ考えたら「やっぱり保育士はたいへんだなあ」と思いました。でも、子どもたちから、たくさん元氣やパワーをもらえるいい仕事だと思いました。私の将来の夢は、保育士です。今日の経験を活かして、少しでも夢に近づけるように頑張りたいです。いい経験ができて良かったです。  
(国分中央高等学校二年 上新原 楓莉)

# 施設ボランティア体験研修

特別養護老人ホームでの体験の中で、普段接することの少ない介護を要するお年寄りの方との関わりを通して生活、価値観の多様性やふれあいの大切さについて考えることを目的として、八月九日に「つつはの園」、八月二十二日「グリーン光芳」に施設ボランティア体験研修を実施しました。中学生十二名の参加があり、老人ホーム・デイサービス・グループホームに分かれてそれぞれ活動しました。最初戸惑っていた生徒も、指導を受けながら徐々に慣れ熱心に活動していました。

## ★研修に参加して

今日は、福祉体験で様々なことをしました。最初は台ふきや部屋の掃除をしました。特に難しかったのは、ベッドメイキングです。角をきれいにするのにこずりました。職員の方がしたベッドメイキングはとてもしっかりとおどろきました。丁寧に仕事をするととても疲れましたが、良い体験を



しました。

(吉松中学校二年

前田 ひなは)

今日一日つつはの園で体験をして、何度も来たことあるので緊張はしませんでした。今日初めて会う人がほとんどで、また新鮮さがありとても楽しかったです。いろんな会話ができて面白かったし、また行きたいなど改めて思いました。利用者一人一人の個性にとってもひかれ、同じ会話の内容でも、色んな答え方、反応をしてくれてありがたかったです。たくさん話したおばあちゃんには、帰るとき「バイバイ、またね」と元気に笑顔で手をふってくれて疲れも一気にふっとびました。今日、学んだ事をこれからの生活に活かし



ていきたいし、また、このつつはの園に行きたいなど強く感じました。

(吉松中学校三年

鶴永 真彩)

学校で行った施設よりたくさん体験や学びができてとてもよかったです。入所者の中には耳が遠い方や話好きな方など、たくさんいらっしやって難しいとこ

ろだらけでした。そんな中でも、入居者をお世話している方々が大変なこともあるのに、色々な工夫をして入所者の方々を笑顔にして楽しく接していてすごいなと思いました。私にも、入所者の方々を楽しませることができたのかどうなのか分からないですが、入所者の方々の笑顔を見ることができたし、「ありがとう」という感謝の言葉もたくさんもらうことができたのでよかったです。これからもできるかぎり参加していきたいです。

(栗野中学校一年

祁答院 夏妃)

私は、将来の夢が介護士の仕事です。私はこれまで何回か福祉ボランティアに参加してきました。今日は、「夏祭り」という事で、施



設の中で行いました。かき水やベビーカー、ステラ、飲み物、ゲーム、くじ引き色々な事を楽しませていただきました。入所者の方々と、たくさん話をしたり、「夏祭り」を一緒に楽しみ、入所者の方々、職員の皆様と共に仲良くなったんじゃないかと私は思いました。職員の皆様々お忙しい中、今日は本当にありがとうございました。私は皆様を見てカッコイイ方に見えました。私は、皆様方よりもカッコイイ介護士になる夢を目指しています。また、来年も福祉ボランティア活動があります。積極的に参加してボランティアをがんばって行きたいと思えます。

(栗野中学校一年

脇田 紗彩)



第十三回

ボランティアの集い

八月三十一日、シルバー  
ケアセンターで、社会福祉  
協議会ボランティアセン  
ターに登録し、町内で活動  
されているボランティアグ  
ループ同士の交流や、それ  
ぞれの活動を町民の皆さん  
に理解していただくことを  
目的に、「第十三回ボラン  
ティアの集い」を開催しま  
した。

当日は、近年、全国的に  
台風や大雨が非常に多いこ  
とや、湧水町でも七月の大



雨で避難生活をされた方々  
も多かったという事で、非  
常炊き出しについて説明を  
行い、非常食を参加された  
三十人に作っていただきま  
した。参加者の中には初め  
て見る方も多く、ハイゼツ  
クスという特殊な袋でご飯  
が出来ることに感心されて  
いました。

次に、手話グループ「ハ  
ンド・トーク」の皆さんと  
手話教室受講生による手話  
歌（パプリカ、ふるさと）  
を発表して頂きました。ま  
た、ハンド・トークの福原  
あけみさんに「ふるさと」  
を指導して頂き、参加者全  
員で手話をしました。初  
めて手話を学んだ子ども達  
も、一生懸命練習した成果  
を披露してくれました。

その後、出水市にお住い  
の地域でふれあい・いきい  
きサロンを実施されてい

らっしゃる、橋口純代氏を  
講師に招き「笑いヨガ」  
や、サロン活動についてお  
話して頂きました。ふれあ  
いサロンで活用できるレク  
リエーションや楽しい「笑  
いヨガ」を指導して頂き、  
ずっと笑いつぱなしの一時  
間を過ごされた参加者の  
方々も、大変喜んでいらっ  
しゃいました。

昼食は、職員が作ったカ  
レーを百余名の参加者み  
んなでおいしく頂きました。  
これからも、更にボラン  
ティアの輪が広がるように、  
取り組んでいきたいと思  
います。



# 地域支え合い活動

## 停車場地区

～非常炊き出し実習～



9月1日、防災の日訓練に伴い、停車場地区防災センターで非常炊き出し実習と消火器を使用した初期消火の訓練が、地区住民、役員、消防団の方々と行われました。非常炊き出しも初めての方が多く、熱心に炊き出しの準備をされました。非常食が出来上がるまでは、地区消防団の方々の指導により、水の入った消火器で消火訓練も行われました。また、出来上がった非常食を参加された方々が手分けして、ご近所にもお配りされていらっしゃいました。今回、「もし」に備えて、日頃からの訓練や心構えがとても大切なことに、皆さん再確認できたのではないのでしょうか。



## 上場地区

～ふれあい・いきいきサロン～



上場地区では、包括支援センターによる健康体操を年6回、自主活動（ふれあい・いきいきサロン）年6回、上場地区構造改善センターにおいて、福祉部長さん、民生委員さんを中心に地域の高齢者が集まり活動されていらっしゃいます。この日はスカットボールを使って皆さんで楽しんでいらっしゃいました。ゲームの後は、お茶飲みしながらおしゃべりでも盛り上がった時間でした。これからも、お元気で楽しく続けていただきたいと思います。



## 《寄 贈》

J A あいら女性部より、タオル・石鹸・洗剤を寄贈して頂きました。シルバーケアセンターで、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



## ☆ふれあい・いきいきサロンとは…

ほとんど家の中で過ごしがちな高齢者が、自宅から歩いて行ける場所に集まり、近所の人たちがそここでお手伝いとして参加する近隣活動が「ふれあい・いきいきサロン」です。場所は、個人の家であったり、地域の公民館であったり、内容もお茶を飲みながらおしゃべりや、料理、健康体操、レクリエーションなど様々です。「ふれあい・いきいきサロン」で、無理なく、楽しく、話して笑い、時間を過ごすことで寝たきり・認知予防にもつながります。